

## 「地方創生テレワーク推進に向けた検討会議」における サテライトオフィス等に関する意見について

### I. 地方創生テレワーク検討会議

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局では、令和2年12月9日より、「地方におけるサテライトオフィスでの勤務など地方創生に資するテレワーク（地方創生テレワーク）」を推進し、新たな働き方や生活への意識の変化を地方への新しいひとの流れにつなげ、東京圏への一極集中是正、地方分散型の活力ある地域社会の実現を図るため、産業界や自治体等の有識者の参画を得たうえ、「地方創生テレワーク推進に向けた検討会議」（以下「検討会議」という。）を開催し、議論をすすめております。

令和2年12月9日に第1回を、令和3年1月18日には第2回を開催し、地方創生テレワークの推進に向けた議論を進めているところ、産業界の有識者からサテライトオフィスに関する意見がいくつかでております。

これらの意見は、地方創生テレワーク交付金を活用した、サテライトオフィス等の整備等を進めるうえでのご参考となるかと存じますので、各自治体の皆様にご案内させていただきます。

引き続き、検討会議における議論については適宜ご紹介をさせていただきます。

### II. サテライトオフィスに関する検討会での議論

#### (1) サテライトオフィス等のセキュリティ確保

「サテライトオフィス等の利用にあたってのセキュリティの確保」が重要、との趣旨の意見が産業界の委員より出ております。

一例として

- ・ 入退室者の管理方法
- ・ 会話が他者に聞こえないような設計
- ・ 通常求められるセキュリティ要件を満たした通信機器の導入 など

サテライトオフィス等の整備にあたりセキュリティへの対応と、どのような対応をしているか示すことが重要との趣旨のご意見が出ておりますのでご紹介いたします。

#### (2) 地域としての魅力づくり

産業界の委員から、選ばれる地域づくりのポイントとして

東京から地方への移住については地域間の競争になり、そうした観点から受入れ側となる自治体もまちづくりや子育てのしやすさ、医療や教育等に加え、災害への対応やとりわけデジタル基盤の整備が必要で、各地が自ら魅力を磨き上げる、東京に負けない魅力づくりを進めることが重要といった意見がでておりますのでご紹介いたします。

### (3) 想定される「地方創生テレワーク」の類型案

検討会議において、議論を進めているところではございますが、地方創生テレワークの推進にあたり、7つの類型を案として提案しております。

現在議論中のものではありませんがご参考としてお示しいたします。

#### <地方創生テレワークの類型案>

類型案	概要
①地域プロジェクト推進	例えばスマートシティプロジェクトへの参画、地域の産学集積の活用、地域企業等との連携によるイノベーション創出等を目的に、拠点を設置・利用する取組
②機能分散型	首都圏に甚大な影響を及ぼす災害等のリスクを考慮し、本社機能バックアップを担う拠点を設置・利用する取組
③人材確保型	都市圏では獲得競争が激しく、離職率も高い職種・部署（非対面のインサイドセールス等）を本社から切り出し、地方で確保・育成する拠点を設置・利用する取組
④ワーケーション推進型	社員の福利厚生等を目的に拠点を設置・利用する取組
⑤地域貢献型	働き手が、本社業務に携わりながら、副業・兼業等を通じて移住先の地域に貢献する取組
⑥子育て型	主に子育て世代の働き手が、豊かな自然や、職場に子育て支援施設が隣接する等の理由を背景に移住する取組
⑦実家型（介護等）	働き手が、介護等を理由に実家に戻りながらも本社業務に携わる取組

※検討会議の資料及び議事要旨については以下のURLに掲載しておりますのでご参照ください

<掲載箇所のURL>

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/meeting/>

こちらにアクセスいただき、上から三番目でございます

「地方創生テレワーク推進に向けた検討会議」

をご参照ください。